

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北陸新幹線飯山駅開業記念信越自然郷第3回北信州ハーフマラソン
事業主体 (連絡先)	北信州ハーフマラソン実行委員会 飯山市大字飯山 1110 番地 1
事業区分	(6) 産業振興、雇用の拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	15,579,307円 (うち支援金: 2,500,000円)

事業内容

平成27年3月の北陸新幹線飯山駅開業後イベントとして野沢温泉村・木島平村・飯山市をコースとした3市村が実行委員会を組織し、第3回北信州ハーフマラソンを実施した。併せて「信越自然郷うまいもの市」を開催した。

- ・期日 平成27年9月27日(日)
- ・種目 ハーフマラソン、10km、3kmマラソン
- ・コース
ハーフマラソン (野沢温泉村役場→飯山市本町商店街)
10kmマラソン (木島平村役場→飯山市本町商店街)、3kmマラソン (本町商店街)
- ・申込 2,675人 出走2,256人

(活動写真) 3kmスタート



【目標・ねらい】

- ① 北陸新幹線飯山駅開業の周知
- ② 新幹線飯山駅を取り巻く地域「信越自然郷」の周知、誘客
- ③ イベント開催による経済効果と地域のにぎわい創出
- ④ 住民の健康増進

事業効果

- ① フィニッシュを飯山市本町商店街に設定し、商店街ににぎわいがあつた。また、コース沿道でも住民が多数応援し、大会にも盛り上がりがあつた。
- ② 北陸新幹線を使った参加者があつた。
- ③ 3kmマラソンを設け、地域の子どもも参加できた。
- ④ フィニッシュエリア隣で「信越自然郷うまいもの市」を開催し地域内の特産物などを販売。うまいもの市目あての来場者も多く、誘客ができた。
- ⑤ 前泊のほか、商店・土産物店等でのランナー限定の特典サービスの実施により、大会開催による経済効果があつた。

※自己評価 【A】

【理由】申込み者が2500人を超え、好評であつた。沿道の応援、ボランティア等多数住民参加があり、大会を盛り上げ、地域のイベントとして定着されるようになった。前泊、特典サービスなど大会開催による経済的な効果があつた。

今後の取り組み

- ・ 今回の申し込み状況を見て、次回の募集人員は今回よりも増やし、また、3kmマラソンを周知し、さらに参加者を募り、信越自然郷のPRと、この大会の定着を図る。
- ・ 地域住民やボランティアの競技運営への参加を更に進め、地域住民の協働による、地域を挙げた大会とする。そして、地域の良さを再認識する機会とする。
- ・ 多くの事業者に参加、協賛を依頼し、大会を通じて、地域の産業、企業、特産品をPRする機会とする。また、信越自然郷うまいもの市、ランナーへの特典サービスなどを充実し、地域への経済効果の生まれる事業を実施したい。

※2 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあつたが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある